

令和 8 年度 第 1 回 福生市地域包括支援センター運営協議会 会議要録

1	開催日時	令和 8 年 7 月 1 日（水）午後 1 時 30 分～3 時 15 分
2	開催場所	市役所第 1 棟 2 階 第 1 会議室
3	出席者	学識経験者、保健・医療または福祉関係者、 介護サービスまたは介護予防サービスの事業者、 介護保険の被保険者、 介護保険以外の地域資源又は権利擁護若しくは相談事業等を担う関係者、 介護福祉課長、介護保険係員、高齢者支援係員、地域包括支援センター管理者
4	次 第	1 報告事項 （1）地域密着型サービス事業所の指定等について（1 件） 2 議題 （1）令和 6 年度福生市地域包括支援センターの事業評価について （2）令和 7 年度福生市地域包括支援センター実績報告について （3）令和 8 年度福生市地域包括支援センター運営状況

1 報告事項

(1) 地域密着型サービスの指定等について	
事務局：	新規地域密着型サービス事業所について説明（1件）
	〔質疑応答・意見〕
委員：	なし

2 議題

(1) 令和6年度福生市地域包括支援センターの事業評価について	
事務局：	地域包括支援センターの事業評価について説明
	〔質疑応答・意見〕
委員：	・地域包括支援センターは、国の指標の報告指標だけでは見えてこない現場の大変さがあるのではないか。 ・評価データと結果共有のタイミングは適切な時期に共有することも求められる。評価指標をコミュニケーションツールとして、また方向性のずれを修正し共通認識を持ち業務を実施していくために活用できるとよい。 ・国のデータが出る前から、示されたデータを基に地域包括支援センターと認識のずれを適時協議が出来る。国との比較だけではなく、タイムリーに市と地域包括支援センターが改善点を調整していくことも必要なのではないか。 ・55項目の詳しい質問がないと内容の検討をしていくことが難しい。どの項目にこのように回答しているか分かるように提示してもらいたい。
事務局：	・地域包括支援センターの事業評価については、地域包括支援センターとのコミュニケーションツールとして、また方向性のずれを修正・改善する目的で適時活用していきたい。また、評価項目については、内容が分かる様式に見直していくよう努めていきたい。

(2) 令和7年度福生市地域包括支援センター実績報告について	
事務局:	各地域包括支援センターの実績報告説明
	〔質疑応答・意見〕
委員:	・実務の中には数値に表れていない部分もあるのではないか。相談件数は数値で見ると減っているが、業務としては大変になっている部分もある。記録の取り方や調査は、経験値や個人によって差が出てしまう部分もある。数値での評価には、現れにくい部分もあるので、実情も含めて評価していくことが大切である。 ・認知症への理解促進と認知症のある方が地域で共生できる環境づくりが求められている。認知症サポーター養成講座の継続と周知の徹底が必要だと思われる。目標値を定めて行うことで拡大を図ることにつながる。 ・介護予防のプラン数増加における“実務負荷”はあるのではないか。要支援の方の中には、福祉用具のみの利用が希望で申請された方が多くいるのではないか。制度上、申請が必要になるため致し方ない部分はあることは理解している。
(3) 令和8年度福生市地域包括支援センター運営状況	
事務局:	地域包括支援センター運営状況について説明
委員:	・介護予防のための地域活動は自治会・民生委員・公民館・学校・企業等との協働をどう拡大するかが鍵になる。地域にどのような資源があるか、また新たなつながりをどう作っていくか検討する共に、その資源を見える化できるとよい。 ・現場の実情は数値だけでは把握できない部分もある。実施している取り組みが現状に近い形で見えるとよい。 ・プラン作成数が増える中で、さらに地域活動も強化していくとなると、負担がさらに大きくなっていくことも懸念される。総合事業のプラン作成制度の見直しが求められる場面に来ているようにも感じられる。